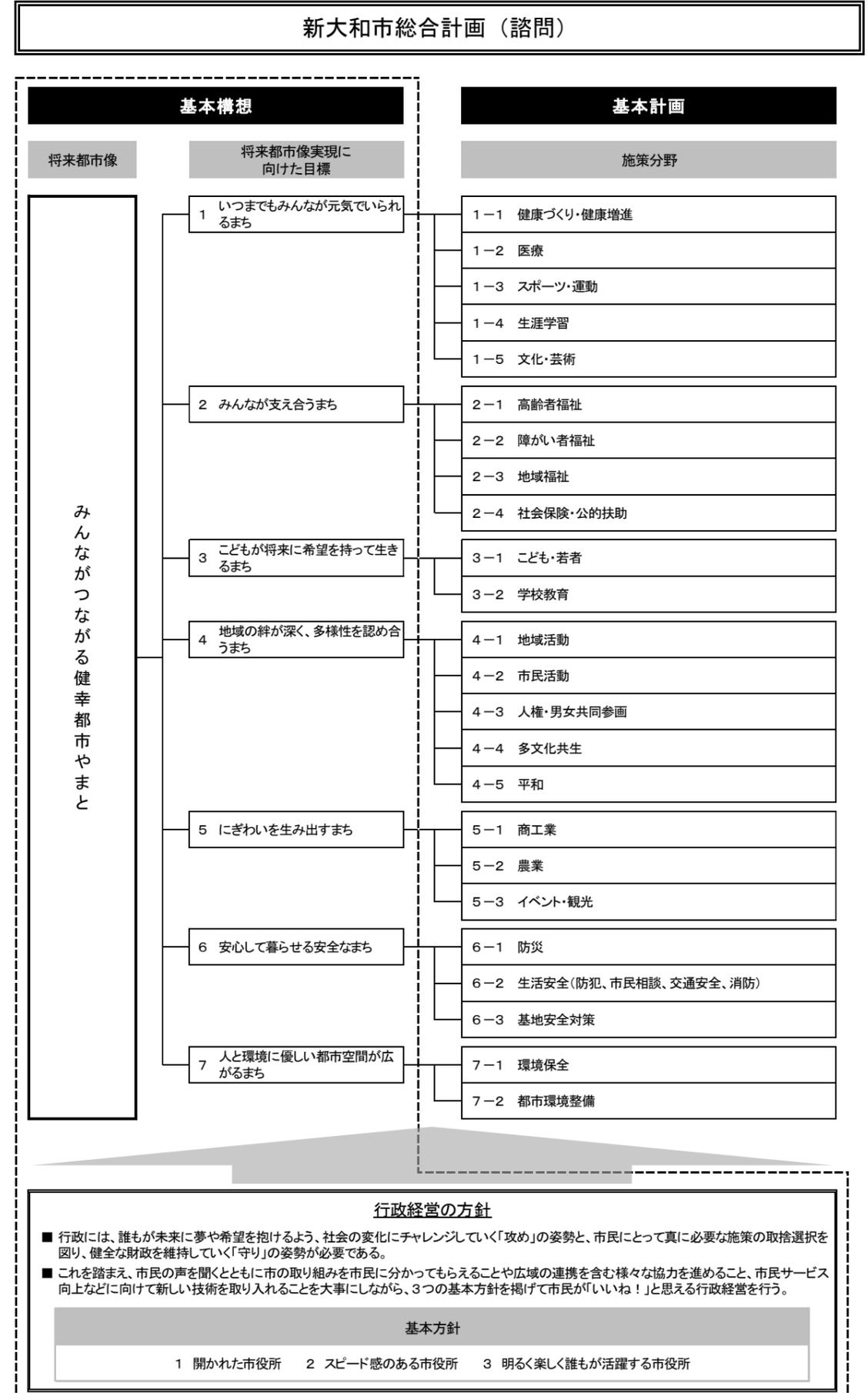
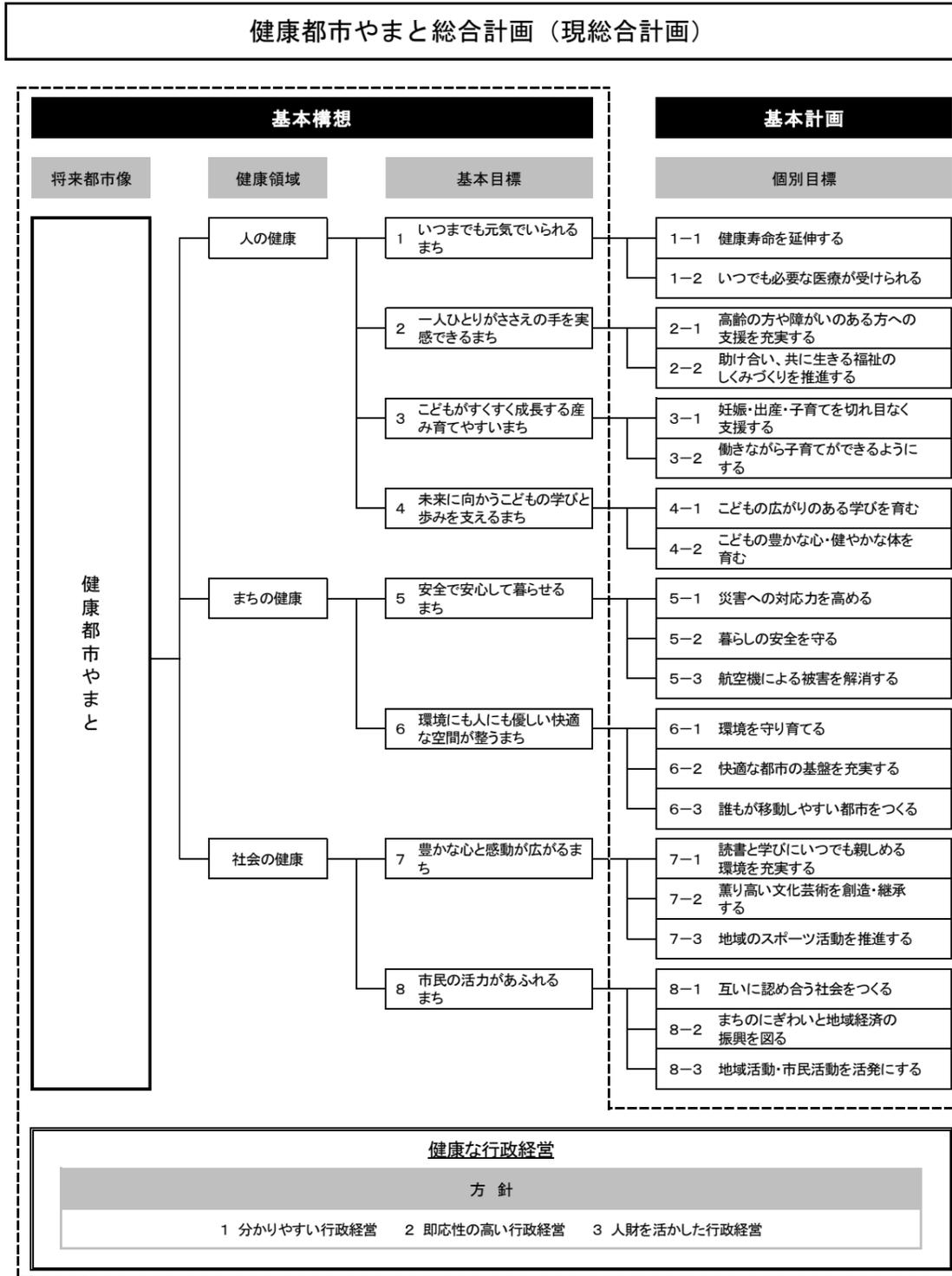


## 計画の体系

### 骨子案の主な考え方

- ①市民の幸せを支える将来都市像とする  
 つながりが幸せの大事な要素とされていることを踏まえ、「つながり」に着目した将来都市像とする。
- ②基本構想部分の体系を2層にする  
 市民に分かりやすい簡潔な体系とするため、現総合計画の3層（将来都市像・健康領域・基本目標）を2層（将来都市像・将来都市像実現に向けた目標）にする。
- ③「つながり」を踏まえた目標を設定する  
 つながり自体やつながりやすい状態を作ることなどの観点から市の取り組みを整理し、「将来都市像実現に向けた目標」を設定する。
- ④基本計画部分の体系に「施策分野」を設定する  
 基本計画において施策の各分野の下に具体的な取り組み内容を示す構成とすることで施策の全体像が市民に分かりやすくなると考え、「施策分野」を設定する。
- ⑤「健康な行政経営」を「行政経営の方針」とするとともに体系での位置付けを明確にする  
 効率的、効果的に市民サービスを提供するための行政経営の基本的な考え方を示す部分として、「行政経営の方針」を体系に位置付ける。
- ⑥行政経営の方針において、行政の姿勢や共通して考慮する必要がある事項を示す  
 行政の姿勢に加え、市民の声を聞くとともに市民に市の取り組みを分かってもらうこと、他自治体を含めた様々な相手と協力すること、DX（デジタルトランスフォーメーション）など、新しい技術を取り入れることを考慮して取り組む旨を示す。



新大和市総合計画計画の体系案

